

五 方 募 法 入 決 定 の	四 發 行 方 法	三 用 振 替 等 法 の 適	二 の 法 律 項 及 び	一 發 行 名 稱 及 び 根 拠 そ そ 記	發 行 平 成 二 十 八 年 次 年	省 令 第 三 十 八 号 二 十 八 年 二 月 三 月 八 日	○ 財 務 省 告 示 第 六 十 四 号 第 五 条 第 十 五 日 告 示 に 關 す る 省 令 一 項 に 發 行 の 規 定 五 十七 利 付 基 づ 國 債 大 藏
争市る参てをび回と入利振の以律社第年別十財回利付 入場も加、し利りい札回替適下へ債一法会四政 札特の者財た回競うへり機用「平、項律計号法 発別にご務後り争」。以を関を振株及第に「 行參よと大に競入に下競は受替式び二関第昭 「加るに臣行争札により争日け法等第十す四和 と者発応がわ入発行利に本銀も「の六三る条二 い・行募各れ札発行回り付し行のう」とい う第へ限国るの行發行り競てとと。」 。II以度債入募いへ競てとと。」 非下額市札入いう以争行すし。」 価一を場での。」 格国定特あ決一札れ。」 競債め別つ定及利「るの定	用 振 替 等 法 の 適	の 法 律 項 及 び	發 行 名 稱 及 び 根 拠 そ そ 記	利 付 債 券 大 臣 （ 四 十 年 ） 太 郎 （ 第 八 条 九 特 三 八 ）	利 付 債 券 大 臣 （ 四 十 年 ） 太 郎 （ 第 八 条 九 特 三 八 ）	利 付 債 券 大 臣 （ 四 十 年 ） 太 郎 （ 第 八 条 九 特 三 八 ）	利 付 債 券 大 臣 （ 四 十 年 ） 太 郎 （ 第 八 条 九 特 三 八 ）

七 イ イ イ 行 利 込 入 回 札 金 發 競 額	口 行 入 債 札 格 第 參 市 發 競 Ⅱ 加 場	六 イ イ 行 利 込 入 回 札 利 發 競 額	口 行 入 債 札 格 第 參 市 發 競 Ⅱ 加 場	行 利 込 入 回 札 利 發 競 額	行 利 込 入 回 札 利 發 競 額	行 利 込 入 回 札 利 發 競 額
万 四	でた条特八つ定円二付一會十つ定う額			込募各りい各		
円 千	四利第別億いに、千国項計七いにち面			み限国当も申		
三 百	百付一會六て基同二債のに億て基、金			の度債ての込		
三 百	四国項計千はづ法百に規関六はづ財額			応額市るかみ		
三 十	十債のに二、き第六つ定す千、き政で			募の場。らの		
七 億	九に規関百額発六十いによる百額発法三			額範特そ		
千 四	億つ定す九面行十億て基法六面行第千			を囲別のち		
百 四	円いによる十金し二七はづ律十金し四九			割内参応		
四 十	て基法五額た条千、き第五額た条百			りに加募		
七	、づ律万で利第五額発四万で利第九			当お者額利		
	額き第円三付一百面行十円千付一十			ていごを回		
	面発四百国項四金し七、三国項七			るてと順り		
	金行十六債の十額た条特百債の億			。各の次の		
	額し七十に規万で利第別六に規円			申応割低		

十五	十四	十一	十八	口
第二期以	初期利子	の経利 払過 込利 み子率	發行 行価 格日	振額最 替額面 位金
毎年三月二十日及び九月二十日	規定、す次その期及翌日及び業に第つといい同じじ。定期と同じおうじ。	下は期た銀支払の業日。式に六に當に払たしり日を算を支し払	定期は成る號の行支払の業日。式に六に當に払たしり日を算を支し払	定期は成る號の行支払の業日。式に六に當に払たしり日を算を支し払
	額面金額× $\frac{1.4}{100} \times \frac{1}{2}$	額面金額の総額× $\frac{1.4}{100} \times \frac{158}{365}$	定期は成る號の行支払の業日。式に六に當に払たしり日を算を支し払	定期は成る號の行支払の業日。式に六に當に払たしり日を算を支し払

二 十 十 十
十 九 八 七 六

払 者 入 払 元 償 償 後
込 札 場 利 還 還 の
期 参 所 金 金 期 利
日 加 支 額 限 子

平 財 日 額 平 利 て を
成 務 本 面 成 子 、 支
二 大 銀 金 六 を そ 払
十 臣 行 額 十 支 の 期
八 か 百 七 払 日 と
年 ら 円 年 う 以 し
二 通 に 三 。 前 、
月 知 つ 月 六 各
二 を き 二 月 支
十 受 百 十 間 払
五 け 円 日 に 期
日 た 者 属 に
す お
る い